

2025年度 第2回IIA監査情報解説コース（オンライン開催）

コンプライアンスの罫

内部監査の独立性と役割の再考

～ 海外論文 The Compliance Conundrum ～

このコースでは、内部監査人協会（IIA）の活動状況や研究成果、また同協会の機関『Internal Auditor』等から参考となる資料・論文等について解説・紹介を行います。

詳細は次ページをご確認ください。

本研修会はZoom（※）動画配信です。Zoomの導入方法は下記でご案内いたします。

※ Zoomビデオコミュニケーションズが提供するクラウドコンピューティングを使用したWeb会議サービス。

※ 今回は予め収録した講演映像を用いた研修です。

※ 講義の録音、録画はご遠慮ください。

Zoom による 配信日時	※下記の3回の配信を予定しております。（いずれも同内容です） ①2025年11月28日（金） 9：30～11：40（開場 9：00） ②2025年12月 3日（水） 13：30～15：40（開場13：00） ③2025年12月16日（火） 13：30～15：40（開場13：00）
講師	アッドサイト合同会社 代表社員 CEO CIAフォーラム研究会No. h5 座長 池田 泰三 氏 公認内部監査人(CIA) 公認リスク管理監査人(CRMA) 公認不正検査士(CFE)
定員	各回それぞれ950名（申込先着締切）
視聴資格	当協会正会員および個人会員（視聴無料） ※お申込み時に登録した情報のご本人様のみご参加可能。
お申込み 方法	3ページ目をご確認ください。

講義内容

第1部：導入と問題提起

第2部：論文解説（執筆者の主張）

第3部：日本の文脈での解釈

第4部：統合的理解と実務への応用

第5部：結論と実践への道筋

講師からメッセージ

本研修は、Internal Auditor誌に掲載された論文の執筆者（デュフェック氏）の主張をもとに、講師が内容を分析し、日本の実務への応用を提案するものである。

デュフェック氏は、「内部監査は、強固なコンプライアンス機能の代わりにはならない」と主張する。また、「米国SOX法を契機に内部監査がコンプライアンス部門と混同され、本来の使命から乖離している」と警鐘を鳴らしている。

我が国でも、J-SOX導入から17年、多くの組織で経営者評価を内部監査部門が担ってきた。

しかし、グローバル内部監査基準で内部監査の役割期待が拡大する中、独立性の維持と本来の使命が問われている。複雑化するビジネス環境において、限られた監査資源をどの領域に投入すべきか。

今こそ、内部監査部門の役割を再定義する時である。

【CPE単位について】

「2.6CPE単位」が付与されます。⇒ “CPE単位”とは、CIA、CCSA、CFSAおよびCRMA資格等の 継続的専門能力開発制度における認定単位です。CPEを報告される方は、視聴後日に配信される「修了証メール」を受講証明として、最低3年間、保管をお願いします。

なお、「修了証メール」の紛失等には一切の責任は負いかねます。あらかじめご了承ください。

また、同じ内容の研修会を複数回受講された場合も、CPE活動単位としてカウントできるのは1度のみとなります。

お申し込み方法

当協会会員サイトに掲載。 会員サイト よりお申込みください。

お申込み前にご利用の機材で「Zoom」によるオンライン配信の講義が視聴可能であることをご確認ください。
接続環境安定のため、Wi-Fi等の無線ではなく有線で接続してご受講ください。

ご参考まで ⇒ <https://www.iiajapan.com/leg/training/zoom/>

【会員サイトの利用登録について】

- 会員サイトの利用登録は1会員につき付与するID（ユーザー名）は1つとなりますので、事前に社内（部署内）での登録状況の ご確認をお願いいたします。（正会員の方）
- 既に利用登録されている会員の方は、付与されているID（ユーザー名）とパスワードを入力してログインしてください。
- 会員サイトに登録していない場合は、会員サイト新規登録が必要になります。
- 会員サイトの新規登録、またはユーザー名・パスワードお忘れの方は[こちら](#)よりお問合せください。

※事情により、中止あるいは配信日時等が変更になる場合は、当協会ホームページ等でお知らせいたします。恐れ入りますが、最新情報は当協会 [ホームページ](#) でご確認ください。